

第8回

国際科学映像祭

ドームフェスタ

Dome Fest

The 8th International Festival of Science Visualization

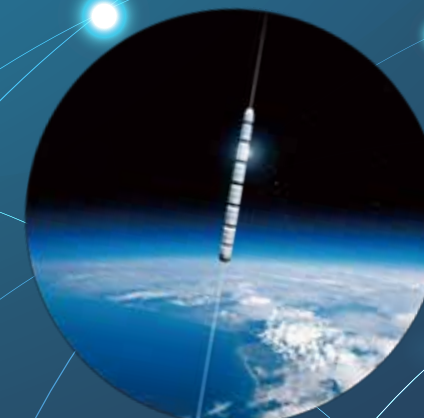
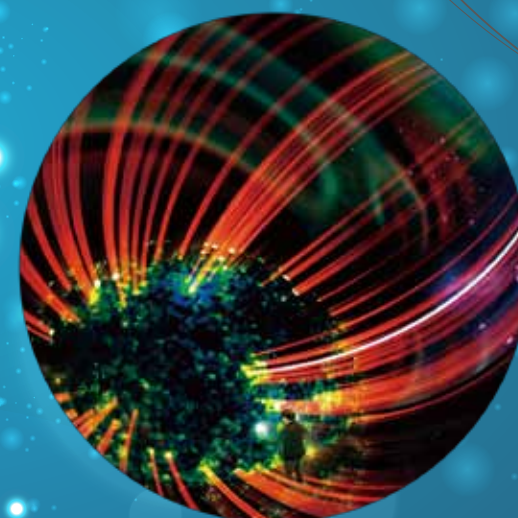
 国際科学映像祭
International Festival of Science Visualization

<https://www.ifsv.org/>

2018.02.18 Sun ▶ 02.20 Tue

GALAXYCITY

 国際科学映像祭
International Festival of Science Visualization



Greetings

第8回国際科学映像祭 ドームフェスタ開催のご挨拶

実行委員長 田部 一志

第8回国際科学映像祭ドームフェスタへ
ようこそいらっしゃいました。

ドームフェスタは2010年にスタートし、今年で8回目を迎えます。第1回から変わらず、ドーム映像の研究、普及そしてコミュニティの創生を目指して活動が続けてまいりました。8年前と比べると、現在はPCの性能や様々なアプリの充実により、ドーム映像の制作が容易になっているように思われます。

このような中、ドームフェスタは、クリエイターの視点に立って選定した11本の「長編作品」の上映、10本の「ショートフィルム」のコンテスト、関連する分野の「プレゼンテーション」、さらに実行委員会企画の「ドームイベント」を揃えて、ドーム映像に関心を持つすべての方々に興味を持って楽しんでいただける内容であると自負しております。

特に、長編作品の上映に際しては、制作者による制作意図のプレゼンテーションを聞くことができます。これは、上映作品には内外を問わず制作者のプレゼンテーションを必須条件として課すという世界でも他に例を見ないユニークな方法をとっているからです。ドームイベントでは地元の中学生・高校生による投影、ドームメディアの将来を占うアジア、アメリカ、ヨーロッパ、もちろん日本からの参加者によるパネル討論、昨年のアメリカ日食の画像を集めたセッションなど、見所満載です。

多くの方が科学映像やドーム映像の制作、そしてドームというメディアの活用にも果敢に挑戦し、気軽に楽しむことのできる時代の到来を期待しております。そして、ドームフェスタに参加して成果を発表しつつ楽しんで、さらに有意義な議論を行い、見分を広めていただければと思います。



第8回国際科学映像祭・ドームフェスタの開催、誠にありがとうございます。
そして、ようこそ遠路を足立区まで出向いて下さり、本当にありがとうございました。
皆様方のご来館を全館スタッフ心より歓迎申し上げます。

さて、現在ではドーム映像コンテンツの多様化がより一層進展して、その作品群の数と幅と奥行きには誠に目を見張るものがあります。大型のドームスクリーンに高い解像度で映し出されるその映像は、確実に観る者を異次元の世界へと誘ってくれます。

これらの映像コンテンツにより、もはやプラネタリウムは星空館といった旧来の定義を大きく逸脱して、あたかもバーチャル体験館とでもいうようなものになりつつあります。夏は、まるで「水族館」となり・・・子ども達は過去に遡って「恐竜博」をも体験&体感出来るのです。

もちろん、夏の大三角を探し、頭上いっぱい広がる星空を満喫することも出来ます。

しかし・・・こうなってくると施設側もウカウカしてられなくなりました。

無数にある様々な作品群の中から自館の投影番組に適したコンテンツミックスをその時々に応じて「最適化」していくことが求められてきています。数多くの多様なジャンルの作品群の中から自施設に適した作品を選択&組み合わせすることは意外と困難な作業です。

しかし、この『選択眼』こそが、これからの新たなドームの活用方法&展望に大きく繋がって行くものと思われる。僭越な物言いで誠に恐縮ではございますが、今回のドームフェスタがこのような研鑽の場となることを心からご祈念申し上げて歓迎のご挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

ギャラクシティ館長 黒川 和男



応募総数136作品の中から、
実行委員会による審査の結果、
新ロゴマークが決定いたしました！

ロゴマーク
発表 **Logo Mark**



国際科学映像祭

International Festival of Science Visualization

■作者 小平 将生 様

■コンセプト 目にした人がなぜこの形なのかと、興味関心をもってくれるロゴをコンセプトに作成しました。
「IFSVM」の文字が浮き出るよう、楕円、三角、四角などを配置。
様々な図形を使用することで映像表現の多様性を表しています。

■これまでのドームフェスタ開催■

2009年度 プレイベント	2009年3月22日(日)～23日(月)	2日間	国立天文台三鷹キャンパス
2010年度 第1回	2010年9月26日(日)～28日(火)	3日間	府中市郷土の森博物館
2011年度 第2回	2011年9月24日(土)～26日(月)	3日間	府中市郷土の森博物館
2012年度 第3回	2012年9月22日(土)～26日(水)	5日間	ソフィア・堺（堺市教育文化センター）
2013年度 第4回	2013年9月22日(日)～25日(水)	4日間	日立シビックセンター天球劇場
2014年度 第5回	2014年9月16日(火)～17日(水)	2日間	広島市こども文化科学館
2015年度 第6回	2015年9月23日(水)～26日(土)	4日間	郡山市ふれあい科学館
2016年度 第7回	2017年3月05日(日)～07日(火)	3日間	ギャラクシティ

Time Table

タイムテーブル

日/Date	Start	End	枠/Slot	タイトル/Orig. Title	英語タイトル/Eng. Title	発表者/Presenter(s)	発表者/Presenter(s) (Eng.)	所属/Organization
Feb.18	17:00	～ 17:20	C-1	開会式	Opening Ceremony			
	17:20	～ 17:30	C-2	セッションオーバービュー	Session Overview			
	17:30	～ 18:20	D-1	ドームイベント1「ギャラクシティ Gがくえん天文部と大学生・専門学校生による作品発表」	<DOME EVENT1> Galaxcity Students' Works	宇野 知樹(司会) 他	Tomoki Uno(MC), and more	ギャラクシティ
	18:20	～ 18:30		休憩	break			
	18:30	～ 19:16	F-1	Halo Ziemia	Hello Earth	Paulina Majda	Paulina Majda	Heavens of Copernicus Planetarium
	19:17	～ 19:52	F-2	宇宙をひもとく4つのカギ	Four Keys to the Universe	三谷 真佐幸	Masayuki Mitani	合同会社スターライトスタジオ
	19:53	～ 20:36	F-3	Beyond～十二星座の宇宙～	Universe beyond the Zodiacal Constellations	はたの さとみ	Satomi Hatano	Asterisk
Feb.19	9:00	～ 9:05	S-1	The Game	The Game	Natalia Oliwiak	Natalia Oliwiak	Independent
	9:05	～ 9:13	S-2	Nachtmahr	Night Mare	Elia Hüneburg	Elia Hüneburg	Independent
	9:13	～ 9:19	S-3	アメリカ皆既日食2017	Solar Eclipse in America, 2017	尾久土 正己	Masami Okyudo	和歌山大学
	9:19	～ 9:23	S-4	高く遠くへ	Beyond this sky	中村 啓	Kei Nakamura	フリーランス
	9:23	～ 9:26	S-5	Invisible reality	Invisible reality	三澤 剛	Tsuyoshi Misawa	ELIX Inc
	9:26	～ 9:31	S-6	体感！南アルプス	Let's feel the Minami Alps	吉住 千亜紀	Chiaki Yoshizumi	飯田市美術館
	9:31	～ 9:36	S-7	日はまた巡る --- 宇宙の小箱より ---	Cycles of the Sun --- Stories of the Space Science Showcase ---	三浦 昭	MIURA Akira	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
	9:36	～ 9:40	S-8	Skylark	Skylark	Jérém Oury	Jérém Oury	Independent
	9:40	～ 9:45	S-9	Brownian Motion	Brownian Motion	Benjamin Vedrenne	Benjamin Vedrenne	Independent
	9:45	～ 9:50	S-12	Circus of Anxiety	Circus of Anxiety	Emily Briselden-Waters	Emily Briselden-Waters	Royal College of Art Full Dome Research Group
	9:50	～ 10:10		休憩	break			
	10:10	～ 10:48	F-4	スペースフロンティア～宇宙飛行士 この一歩の為に～	Space Frontier— Becoming an astronaut —	清水 大輔	Daisuke Shimizu	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
	10:49	～ 11:24	F-5	LICHTMOND - Days Of Eternity	LICHTMOND - Days Of Eternity	Markus Schäfer	Markus Schäfer	bluphase media Planetarium Hamburg
	11:25	～ 11:59	F-6	宇宙エレベーター	Space elevator	花光 昭典	Akinori Hanamitsu	D&Dピクチャーズ
	12:00	～ 13:10		休憩（昼食）	Lunch break			
	13:10	～ 13:25	P-1	プラネタリウムコンサートでリアルタイム映像	Synchronized images with planetarium concert	竹内 伸	Shin Takeuchi	富士ゼロックス株式会社
	13:26	～ 13:41	P-2	VRプラネタリウムプロジェクトと制作中番組のご紹介	Introduction of the VR planetarium project and the program under production	小林 道夫	Michio Kobayashi	カカクノトビラプロジェクト
	13:42	～ 13:57	P-3	宇宙科学データの可視化・可聴化	Visualization and Sonification Methods Relating to Space Science Data	三浦 昭	MIURA Akira	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
	13:58	～ 14:18	P-4	New shows from Korea and 8K	New shows from Korea and 8K	朴淳弼	Soonchang PARK	METASPACE
	14:19	～ 14:34	P-5	360度3D実写映像をやってみた結果	Results of trying 360 degree 3D photography	大西 悟	Satoru Onishi	太陽企画株式会社
	14:35	～ 14:45		休憩	break			
	14:45	～ 15:28	F-7	Explore	Explore	Maciej Ligowski	Markus Schäfer	Creative Planet
	15:29	～ 16:20	F-8	HORIZON～宇宙の果てにあるもの	HORIZON:Beyond the Edge of the Visible Universe	上坂 浩光	Hiromitsu Kohsaka	有限会社 ライブ
	16:21	～ 16:36	P-6	ドームにおけるVRゲーム+DJ+VJセッションの試み	VR Game, VJ and DJ performance in dome	高幣 俊之	Toshiyuki Takahei	株式会社オリハルレコンテクノロジーズ
	16:37	～ 16:52	P-7	プラネタリウムライブでの映像演出手法	A Method in Directing Live Visuals for Planetariums	土井 昌徳	Doi Masanori	株式会社HERE.
	16:55	～ 17:05		休憩	break			
	17:05	～ 18:35	D-2	ドームイベント2「フルドームメディアの未来」	<DOME EVENT2> Future of Full Dome Media	田部 一志(司会) 、Park Soonchang、Markus Schäfer、Maciej Ligowski、J-Walt Adamczyk、尾久土 正己	Isshi Tabe(MC), Park Soonchang, Markus Schäfer, Maciej Ligowski, J-Walt Adamczyk, Masami Okyudo	国際科学映像祭実行委員会
	18:35	～ 18:50	C-3	集合写真	Group Photo Session			
	18:50	～ 19:00		移動				
	19:00	～ 21:00	C-4	情報交換会	Banquet			
Feb.20	10:00	～ 10:15	P-8	アップデートプラネタリウム	Update Planetarium	北川 貴好/アップデートアーキテツ	Takayoshi Kitagawa/Update Architects	アップデートアーキテツ
	10:16	～ 10:36	P-9	Fulldome movie	Fulldome movie	Maciej Ligowski	Maciej Ligowski	Creative Planet
	10:37	～ 10:52	P-10	ぐるぐる一回転を利用したドーム演出におけるベクション効果の考察ー	GURUGURU—Consideration of Vection effect in Dome contents using rotation	井内 麻友美	Mayumi IUCHI	葛飾区郷土と天文の博物館
	10:53	～ 11:08	P-11	教育現場におけるドーム映像の可能性口	How to make the fuldome for education	飯田 将茂	Masashige Iida	
	11:09	～ 12:03	F-9	剣の山	Ken no Yama	久保 貴志	Takashi Kubo	黒部市吉田科学館
	12:05	～ 13:05		休憩（昼食）	Lunch break			
	13:05	～ 13:47	F-10	地球外生命を求めて	THE SEARCH FOR LIFE IN SPACE	森沢 真紀	Maki Moriswa	株式会社さらい
	13:48	～ 14:29	F-11	Incoming!	Incoming!	Ryan Wyatt	Ryan Wyatt	California Academy of Sciences
	14:30	～ 14:45		休憩	break			
	14:45	～ 15:45	D-3	ドームイベント3 「自然現象のリアル再現に迫る-皆既日食2017に挑戦-」	<DOME EVENT3> Challenges on Filming the Total Solar Eclipse 2017	鷹 宏道(司会) 、沼澤 茂美、尾久土 正己、小澤 裕二、塩田 和生	Hiromichi Gan (Mc), Shigemi Numazawa, Masami Okyudo, Yuji Ozawa, Kazuo Shiota	JPAデジタルプラネタリウム研究ワーキンググループ
	15:45	～ 16:15	C-5	閉会式	Closing Ceremony			

Short Descriptions

コンテンツ概要

01 Feature Films 長編上映作品一覧

Slot No.	Original Title/タイトル(原題)	Duration/上映時間
	English Title /英文タイトル	Release Year/製作年
	Short description /概要(Japanese)	
	Short description /概要(English)	
	Director/監督	上映言語
	Presenter	Production Company/制作会社・団体

F- 1	Halo Ziemia	31:00
	Hello Earth	2017
	Seeking contact with others remains one of the earliest and strongest humans’ needs. By trying to fulfil this need, we invented writing, radio, telephone and finally - the Internet. We overcame language barriers, problems related to distance and information flow time. Thanks to modern technologies and communication devices, we develop our civilisation - we are changing the world and ourselves. Who knows - maybe you will hear someone seeking contact you with?	
	Paulina Majda	English 英語
	Paulina Majda	Copernicus Science Centre
F- 2	宇宙をひもとく 4 つのカギ	25:00
	Four Keys to the Universe	2017
	目覚めると周りは暗く、男はそこがどこなのか、なぜいるのか覚えていなかった。突如現れた部屋、それはエレベーターだった。Ai の言葉をヒントに案内されたフロアを探る男。もしかすると宇宙のテーマパークではないか？と予想する。4 つのステージをクリアして 4 つのカギを手に入れると、不思議な形をしたホログラムが完成した。それは、宇宙の時間と空間を現したものだという。そしてそこは、なんと最初から男のいた世界だった！	
	三谷 真佐幸	Japanese 日本語, English subtitles 英語字幕付き
	三谷 真佐幸	合同会社スターライトスタジオ
F- 3	Beyond～十二星座の宇宙～	33:00
	Universe beyond the Zodiacal Constellations	2017
	あなたにとって宇宙とはどんな存在だろう。あるいは、それはとても遠い存在に思えるかもしれない。しかし、誰にも誕生日があるように、宇宙にも誕生の歴史があり、そしてそこから私たちが生まれた。黄道十二星座に属する天体を一つ一つたどりながら、この宇宙の歴史と広がりを知解していこう。あなたの誕生星座の向こうに、私たちが生まれた宇宙が広がっている。	
	はたの さとみ	Japanese 日本語
	はたの さとみ	高崎市少年科学館／AND You
F- 4	スペースフロンティア～宇宙飛行士 この一步の為に～	27:01
	Space Frontier —Becoming an astronaut —	2017
	人類は何故宇宙へ行くのでしょうか？その最前線で活躍する宇宙飛行士はどんな思いで宇宙に行くのでしょうか？1969 年に月面に降り立った人類は、2030 年代半ばを目標に、火星への有人宇宙探査を計画しています。これまで何度も宇宙でのミッションを成し遂げてきた JAXA 若田宇宙飛行士のナビゲーションと共に、ロケットの打ち上げの瞬間から、火星到着までの壮大な旅をお楽しみください。	
	塚本 啓太	Japanese 日本語
	清水 大輔	福岡市／福岡市科学館／ コニカミノルタプラネタリウム株式会社

F- 5	LICHTMOND- Days Of Eternity	19:58
	LICHTMOND- Days Of Eternity	2017
	With LICHTMOND “Days of Eternity” gold and platinum awarded sound architects Giorgio and Martin Koppehele continue their artistic journey by setting another audiovisual milestone. Perfect sound and a fabulous, song-based story merge in a full- dome experience that takes the viewer on a fantastic journey to the pristine world of the planet “Chronos” - the universal giver of time - where time goes by, time disappears and time is born.	
	Diego M. Bonati, Giorgio Koppehele, Martin Koppehele, Jakob Laugs, Thomas W. Kraupe	English 英語
	Markus Schäfer	Planetarium Hamburg & bluphase media
F- 6	宇宙エレベーター	23:39
	Space elevator	2017
	現在、地上と宇宙をつなぐ「宇宙エレベーター」が注目を集めています。ロケットのように膨大な燃料は必要なく、経済的な宇宙エレベーターは、将来の宇宙開発の切り札となる構想です。作品では、宇宙エレベーターの要となるケーブルやクライマーと呼ぶ本体の開発の様子を紹介。誰もが手軽に宇宙旅行を楽しむ事ができる、そんな夢の世界をひと足早く体験してみましょう。	
	花光 昭典	Japanese 日本語
	花光 昭典	NHK エデュケーショナル
F- 7	Explore	27:13
	Explore	2017
	EXPLORE presents a broad selection of science topics in a modern and accessible way, in a story that revolves around the ambition to colonise Mars- a topic at the forefront of current trends in space adventure films for the giant screen. The film does not just explain scientific facts, such as the geo- vs helio-centric model or retrograde motion of planets. By closely examining the example of Johannes Kepler and his three laws of planetary motions, “Explore” also shows how the achievements of individuals can change the world, and how much we all benefit from them. High quality visuals, custom composed music, and professional narration all serve a single purpose: to enhance the audience’ s immersive experience.	
	Maciej Ligowski	Japanese 日本語, English 英語, Polish, German, French, Dutch
	Maciej Ligowski	Creative Planet
F- 8	HORIZON ～宇宙の果てにあるもの	40:57
	HORIZON:Beyond the Edge of the Visible Universe	2017
	宇宙は膨張している…ハッブルの発見をもとに宇宙という空間が膨張しているという事実を見出したルメートル。しかしこの学説はまったく受け入れられなかった。しかし 38 年後、あらゆる方向から届く電波が発見される。それは宇宙背景放射と呼ばれ、宇宙がまだ小さかった頃の名残が 138 億年の時を経てここに届いているものだった。宇宙の果てを探る人々の想いが、今、実を結ぼうとしていた。	
	上坂 浩光	Japanese 日本語, English 英語
	上坂 浩光	有限会社 ライブ
F- 9	剣の山	43:01
	Ken no Yama	2017
	小さな頃に父親を山で亡くした主人公の剣。彼の父は山岳救助隊の隊員だった。剣は山に対して複雑な気持ちを持っていた。高校生になった彼はある年の夏、科学部のキャンプで立山に登る。そこで雄大な自然を体験しながら、山と自分の関係を見つめ直す剣。そして父の友人でもあった顧問の先生や、友人たちに囲まれながら、剣は自分の心の呪縛を徐々に解いていく。	
	上坂 浩光	Japanese 日本語
	久保 貴志	黒部市・有限会社ライブ

F-10	地球外生命を求めて	32:00
	THE SEARCH FOR LIFE IN SPACE	2017
	この広大な宇宙の中で唯一地球にしか生命は存在しないのでしょうか？宇宙に隣人はいないのでしょうか？本作では、この質問に向き合ったカール・セーガンの足跡を辿ります。案内役にカール・セーガン研究所所長リサ・カルテネガシー氏を迎え、生命の存在が期待される土星の衛星エンケラドゥスなど太陽系内の星々から系外惑星までを巡り、生命の起源を探ります。壮大な映像に乗せて地球外生命探査の旅が始まります。	
	A new era of space exploration has begun. It's the search to find something that changes everything—signs of life somewhere else in the universe. Journey from the depths of the Pacific Ocean, to the ice moons of Jupiter and Saturn, beyond our solar system and out into the far reaches of space in search of planets like our own.	
	Stephen Amezdroz	Japanese 日本語
F-11	森沢 真紀	December Media film／共同制作 Film Victoria Australia, Swinburne University of Technology
	Incoming!	25:30
	Incoming!	2016
	“Incoming!” explores asteroids, comets, and the hard-hitting stories of our cosmic origins. Embark on a journey back in time and across the Solar System, following the paths of asteroids and comets that have collided with Earth—and those that roam far from home. These ancient objects travel billions of years before reaching Earth, and their impact can be so powerful that just one collision can change the course of life on our planet. Scientists aren't waiting for asteroids and comets to come to us to learn more about them—get an up-close look at spacecraft sent to rocky asteroids and icy comets to collect invaluable data. You'll follow the trek of the Chelyabinsk meteor as it entered the Earth's atmosphere in 2013 and visualize major shifts in the history of the Solar System billions of years in the making—and all in under an hour.	
	Ryan Wyatt	Japanese 日本語, English 英語
	Ryan Wyatt	California Academy of Sciences

02

Shot-Film Contest

ショートフィルムコンテスト作品一覧

Slot No.	Original Title/タイトル(原題)	Duration/上映時間
	English Title /英文タイトル	Release Year/製作年
	Short description /概要(Japanese)	
	Short description /概要(English)	
	Director/監督	Production Company/ 制作会社・団体

S-1	The Game	05:00
	The Game	2017
	A short animation maintained in a vintage style showing a story of a man who tries to find his hapiness and fullfilment in the casino. By throwing a coin into a slotmachine he activates the game and sets the ball of destiny in motion. The ball that from now on will decide his fate. Henceforth tha gaze of the audience is attached to the mans destiny by chasing the ball insdie the arcade machine. The animation inspired by true story.	
	Natalia Oliwiak	Independent
S-2	Nachtmahr	07:40
	Night Mare	2017
	An old man can not sleep. In between of weird dreams and old memories he awakes, confused and haunted by some thing he can not see. His cat however sees the nachtmahr creeping in the nightly shadows and is for itself out for a hunt.	
	Elia Hüneburg	Independent
S-3	アメリカ皆既日食 2017	05:33
	Solar Eclipse in America, 2017	2017
	2017年夏にアメリカで見ることができた皆既日食の様子をドーム映像化したもの。	
	尾久土 正己	和歌山大学
S-4	高く遠くへ	03:02
	Beyond this sky	2013
	異世界飛翔	
	Fly through in fantasy world	
	Kei Nakamura	フリーランス
S-5	Invisible reality	02:35
	Invisible reality	2017
	小さくて目に見えないものから大きすぎて見えないものまでを表現しました	
	From too small things to too large things that can't see.	
	Tsuyoshi Misawa	ELIX Inc
S-6	体感！南アルプス	05:00
	Let's feel the Minami Alps	2017
	南アルプスがフィールドの学芸員（生物）が、調査に SP360 4K を持参して 360°映像撮影にチャレンジ！南アルプスの山々の山頂をドームで体感してみませんか！（博物館企画展イベント用に制作）	
	吉住 千亜紀	飯田市美術博物館



S- 7	日はまた巡る --- 宇宙の小箱より ---	05:00
	Cycles of the Sun --- Stories of the Space Science Showcase ---	2017
	宇宙科学研究所の Web サイト「宇宙の小箱」で提供されている「宇宙カレンダー」をモチーフにした、太陽に関連する短編集です。太陽にまつわる周期的な現象や、X 線等の目に見えない光で見た太陽等をご紹介します。	
	The movie consists of several episodes related to the Sun, e.g., periodic phenomena of the Sun, visualization of the Sun observed in invisible wavelength, and so on. The Cosmic Calendar at the web site “Space Science Showcase” of ISAS inspires the episodes.	
	三浦 昭	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
S- 8	Skylark	04:00
	Skylark	2017
	Skylark is an audiovisual experience about geometric pattern, moiré effect and mathematical movements. The viewer – like a “skylark” bird’s – have the sensation to escape of the multiple oppresives jails, tunnels and linear variations of convolutions.	
	Jérém Oury	Independent
S- 9	Brownian Motion	04:22
	Brownian Motion	2017
	Brownian motion is a visual and cosmic journey, that explores how life emerges from automated processes. All animations come from the same noise generation system known as “fractal brownian motion”. This abstract journey is meant to be a sensory experience, a visual contemplation.	
	Benjamin Vedrenne	Independent
S- 12	Circus of Anxiety	04:15
	Circus of Anxiety	2017
	The title derives from the historical practice in which male doctors forced female patients displaying symptoms of hysteria to perform for an audience. The immersive space of the full dome has been used in an experimental way, aiming to communicate the intense feeling of this experience.	
	Emily Briselden-Waters, Lisa J burgess	Royal College of Art Full Dome Research Group

■ MEMO ■

03 Presentations / プレゼンテーション一覧

Slot No.	Original Title/タイトル(原題)	
	English Title /英文タイトル	
	Short description /概要(Japanese)	
	Short description /概要(English)	
	Presenter	Production Company/制作会社・団体

P- 1	プラネタリウムコンサートでリアルタイム映像	
	Synchronized images with planetarium concert	
	プラネタリウムコンサートの音楽や進行に合わせて映像をリアルタイムに変化	
	Change images dynamically with music and audience interaction.	
	竹内 伸	富士ゼロックス株式会社
P- 2	VR プラネタリウムプロジェクトと制作中番組のご紹介	
	Introduction of the VR planetarium project and the program under production	
	新 WEB コンテンツ「VR プラネタリウム」と、制作中のプラネタリウム番組「私を月に連れてって」のご紹介です。特に「VR プラネタリウム」はスマートフォン+VR ゴーグルでパーソナルな視聴環境を実現します。	
	It is an introduction of the new WEB content “VR Planetarium” and the planetarium program “Fly Me to the Moon” under production. Especially “VR Planetarium” realizes personal viewing environment with smartphone + VR goggles.	
	小林 道夫	カガクノトビラプロジェクト
P- 3	宇宙科学データの可視化・可聴化	
	Visualization and Sonification Methods Relating to Space Science Data	
	科学映像を製作するにあたっての、宇宙科学データ可視化・可聴化手法についてご紹介します。	
	Visualization and Sonification Methods are introduced in order for space science data to be incorporated into scientific visuals.	
	三浦 昭	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
P- 4	New shows from Korea and 8K	
	New shows from Korea and 8K	
	We started to make new shows just a few months ago and have some cuts available for the comment of Japanese audience. We will soon apply for government funding to finish our show by end of the year.	
	朴淳祖	METASPACE
P- 5	360 度 3D 実写映像をやってみた結果	
	Results of trying 360 degree 3D photography	
	360 度 3D 実写撮影の機材や事例、ドームと HMD の比較、立体と非立体、それらによる観客の反応の違いなどの知見をご紹介します。	
	Knowledge gained in 360 degree 3D photography.	
	大西 悟	太陽企画株式会社

P-6	ドームにおける VR ゲーム+DJ+VJセッションの試み	
	VR Game, VJ and DJ performance in dome	
	日本科学未来館において開催された新しいドームイベントについてご紹介します。	
	I'll introduce a new dome event held in Miraikan.	
	高幣 俊之	株式会社オリハルコンテクノロジーズ
P-7	プラネタリウムライブでの映像演出手法	
	A Method in Directing Live Visuals for Planetariums	
	近年プラネタリウムの活用方法の一つとして音楽ライブが注目されている。この発表では、プラネタリウムならではの空間構造を活かし、映像演出にどのようにモーショングラフィックスを活用すべきかについて、制作事例とともに紹介する。	
	We will discuss the recent trends in utilizing the planetarium as a platform for live music and visuals. This presentation discusses the details and case scenarios on how we can apply motion graphics to the medium and how we can direct them.	
	土井 昌徳	株式会社 HERE.
P-8	アップデートプラネタリウム	
	Update Planetarium	
	ソフトで公共建築を更新するという目標のもと、集まったメンバーで墨田区の元プラネタリウムドームで様々な実験の発表を11月に行った。天空部分と客席との上下関係性を考えたプログラムのプレゼンテーションを行います。	
	Based on the goal of updating public buildings by software, members gathered and presented various experiments at the former planetarium dome in Sumida Ward in November. We will present a program that considers the unique relationship between top and bottom of the sky and audience seats.	
	北川 貴好/アップデートアーキテクト	アップデートアーキテクト
P-9	Fulldome movie	
	Fulldome movie	
	Fulldome movie is a relatively new type of movie designed for spherical theaters. However not only the geometrical properties distinguish this type of motion picture. In my talk I will briefly cover the important background of film production and later concentrate on important aspects of fulldome movie production.	
	Maciej Ligowski	Creative Planet
P-10	ぐるぐる一回転を利用したドーム演出におけるベクション効果の考察—	
	GURUGURU—Consideration of Vection effect in Dome contents using rotation	
	発表者は所属館において、毎年『罰ゲーム』と称されるドーム酔いを引き起すプラネタリウム演出を制作している。観覧者の目を回すのを目的としたこのコンテンツは、星空をぐるぐる回す動きが基本である。さらにベクション（視覚誘導性自己運動感覚）の特性を考察しながら演出のバリエーションをつけてきた。ドーム酔いはどのような演出で引き起しやすいのか？演出要素を投映しながら考察を発表する。あなたも"ぐるぐる"目を回してください！	
	I am produced a planetarium directing that optical illusion contents about called "batsu-game (mini-game presented for game loser)" every year in our planetarium. What kind of contents directing is easy to make "Vection" in dome? presenting while playing contents projecting. Please turn around the "GURUGURU(round and round)" your eyes!	
	井内 麻友美	葛飾区郷土と天文の博物館
P-11	教育現場におけるドーム映像の可能性	
	How to make the fulldome for education	
	教育現場におけるドーム映像の可能性について話します	
	I will talk about he possibility of the fulldome image in the educational field.	
	飯田 将茂	

04 Dome Events

ドームイベント一覧

Slot No.	Original Title/タイトル(原題)	
	English Title /英文タイトル	
	Short description /概要(Japanese)	
	Short description /概要(English)	
	MC & Presenter	Production Company/制作会社・団体

D-1	ドームイベント1 「ギャラクシティ G がくえん天文部と大学生・専門学校生による作品発表」	
	<DOME EVENT1> Galaxcity Students' Works	
	【G がくえん天文部（中高生の活動）】 プラネタリウム投影（解説） 榊原 晃一、蓮沼 瑞希 【プラネタリウムコンテンツ制作 WS（大学生・専門学校生の活動）】 ドーム映像作品「ハワイ★スター★ターズツアー」 小井戸 美穂、後藤 亮仁、武田 典子、濱野 りさ子	
	【SCHOOL of Galaxcity -Highschool Student's Activity-】 Live Planetarium Show Koich Sakakibara , Mizuki Hasunuma 【Workshop of making Movie Contents for Planetarium Show -University & College student's Activity-】 「Hawaii *Star*ter's Tour」 Miho Koido , Ryoji Goto , Noriko Takeda , Risako Hamada	
	宇野 知樹(司会) 他	ギャラクシティ
D-2	ドームイベント2「フルドームメディアの未来」	
	<DOME EVENT2> Future of Full Dome Media	
	日本には150か所のドーム、世界には IPSの Directory によれば30000もの Dome があります。これらは多くは「Planetarium を使った天文・科学教育」を目的として作られたものです。もう1つの cutting edge は、いうまでもなく digital dome theater です。これは天文・科学の教育のための tool という枠を完全に超越してしまったようにも見えます。しかしながら、ベースにはプラネタリウムや大型映像、芸術的な表現の媒体、さらに観光やエンターテインメントの世界へもつながっています。このパネルでは、日本も含めた世界のドームの現在の状況と、それを踏まえて将来への展望と夢を分野にとらわれず語っていただきたいと思います。	
	There are 30000 Dome in the worlds according to IPS Directory. Many of these are made for the purpose of "astronomy and science education using Planetarium". Another cutting edge purpose is, of course, the digital dome theater. This seems to have completely transcended the framework of a tool for education of astronomy and science already. However, the base also leads to planetariums, large-scale images, media of artistic expression, as well as the world of sightseeing and entertainment. In this panel, I would like you to talk about the current situation of the dome in own country, and the prospects, dreams and future based onthat situation.	
	田部 一志(司会)、Park Soonchang、Markus Schäfer、 Maciej Ligowski、J-Walt Adamczyk、尾久土 正己	国際科学映像祭実行委員会
D-3	ドームイベント3「自然現象のリアル再現に迫る- 皆既日食 2017 に挑戦-」	
	<DOME EVENT3> Challenges on Filming the Total Solar Eclipse 2017	
	2017 年 8 月アメリカでの皆既日食で撮影された全天映像の上映と撮影手法等をお話しいたします。 尾久土 正己 「アメリカ日食を 4K、8K 全天、8KVR で撮る」 沼澤 茂美 「RAW 静止画データから作成したコロナ映像と HDR 処理して作成した日食魚眼映像」 小澤 祐二 「アメリカ皆既日食 GoPro 6 台+GH5 4K」	
	ディスカッション 上記 3 名、塩田 和生	
	About the total solar eclipse all sky images Shooting methods . Masami Okyudo "Shoot the American solar eclipse at 4 K, 8 K all-sky, with 8 KVR" Shigumi Numazawa "Eclipse fish eye images created by processing HDR images and corona movie created from RAW still image data" Yuji Ozawa "US total solar eclipse GoPro 6 units + GH 5 4K" Kazuo Shiota participates in the discussion.	
	鷹 宏道(司会)、沼澤 茂美、尾久土 正己、 小澤 裕二、塩田 和生	JPAデジタルプラネタリウム 研究ワーキンググループ

05 Booth Exhibitions

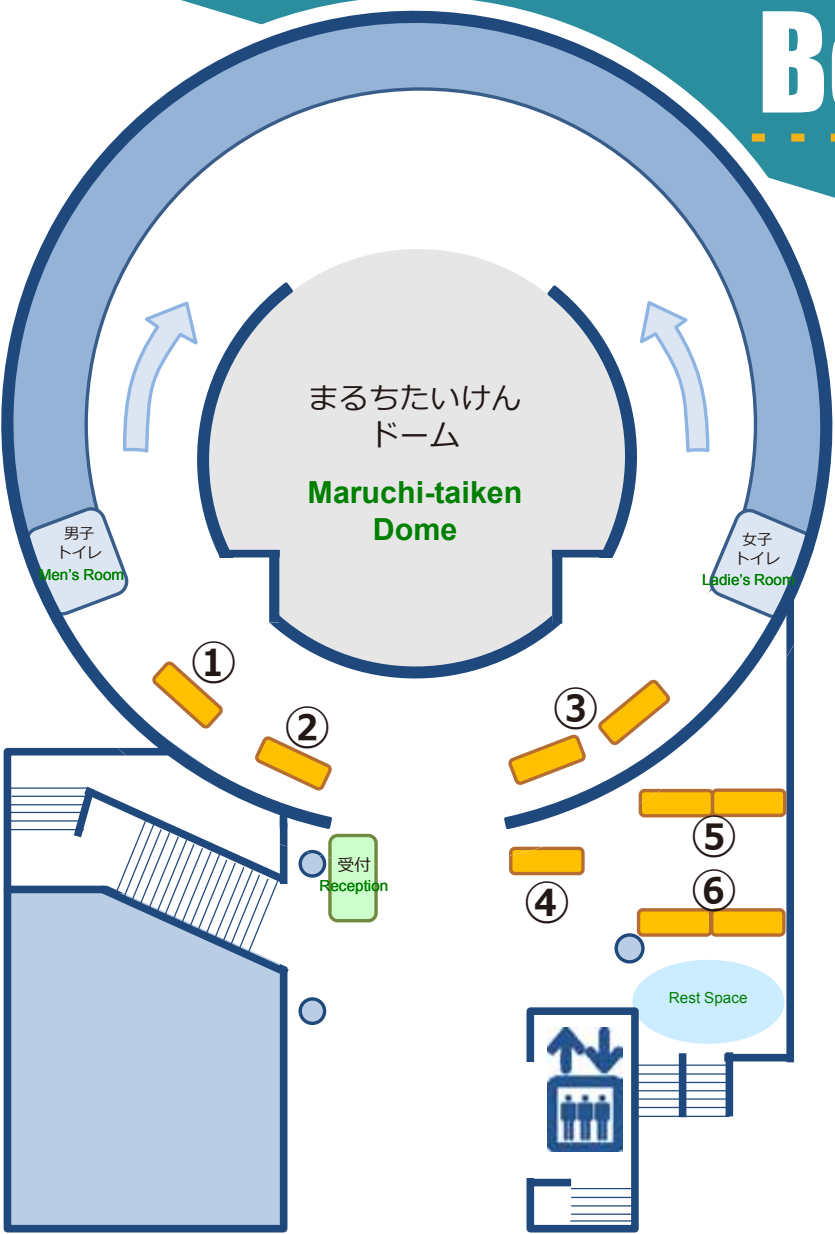
ブース出展一覧

Slot No.	Original Title/タイトル(原題)	English Title /英文タイトル
	Short description /概要(Japanese)	
	Short description /概要(English)	
	出展者	Exhibitors

B-1	パノミル	Panomiru
	2017年北米皆既日食の360度映像と併せて、日食の状況をガイダンスする視点追従型のサブスクリーンを用いた、新しい映像表現方法を取り入れたVRコンテンツおよびアプリケーション。	
	VR content incorporating a new video expression method using a view-following type subscreen that guides the eclipse situation together with the 360-degree video of the 2017 North American total solar eclipse.	
	株式会社ピクセラ	PIXELA
B-2	当社事業実績と新番組のご紹介	Introduction of business activities and our new planetarium programs
	当社の事業実績のご紹介とともに、新たにリリースするプラネタリウム番組のご紹介もさせていただきます。キャラクター番組、天文・科学番組、アーティスト番組、ヒーリング番組と幅広く多種多様なジャンルをラインナップしている当社のプラネタリウム番組をご紹介します。是非お気軽にお立ち寄りください！	
	We are introducing our business activities and our new planetarium programs. It is a pleasure to introduce our planetarium programs line-up with a wide variety of genres, including character programs, astronomy and science programs, artist programs, and healing programs. Please feel free to drop by!	
	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	KONICA MINOLTA PLANETARIUM CO.,LTD.
B-3	「どこでも」ディスプレイ	Docodemo Displays
	私はフルドームコンテンツクリエイターの新しい市場を創る目的で活動しています。今回の出展ブースでは、皆様に最新機能や制御およびコンテンツ変換ソフトを活用した状態をご覧ください。	
	My mission is to make new market for full-dome contents creators. In this exhibition booth, you would be able to see the latest function of Docodemo displays. a. various contents. for example:full-dome contents, VR(360 degree) contents, etc b. simple and stable control systems. c. efficient contents conversion software.	
	ペニーアーケード	Penny Arcade
B-4	スターライトスタジオの紹介	An Introduction to Starlight Studio
	スターライトスタジオの最新の活動を伝えます。PCにて最新の番組予告編、SP等の動画を流します。チラシやポスター、サンプルDVDの配布、コーヒーサービスも予定しています。	
	We'll be presenting Starlight Studio's recent activity at our booth. We'll also be displaying posters, playing samples of our latest content and providing leaflets. We're also planning to serve coffee.	
	合同会社スターライトスタジオ	Starlight Studio LLC
B-5	ペーパードーム	PaperDome
	各種ドーム映像を複数人で鑑賞&共有体験できる、小型の段ボール製ドーム型スクリーン「ペーパードーム」の新型『半球ドーム』を実演展示します。	
	We will exhibit a small cardboard dome type screen "Paper Dome" that you can Experience & Share a dome image with a high immersive feeling easily.	
	(有) スープスタジオ	Soupstudio Architect Inc.,
B-6	新番組紹介とペーパードーム	New fulldome shows and paper dome
	プラネタリウム番組の紹介をします。特に今回上映される HORIZONや Explore のちらしなどを配布します。またペーパードームをお披露目します。その紙製ドームの中で番組のトレーラーなども上映します。ぜひお立ち寄りください！	
	GOTO INC (Tokyo, Japan). Come and see our latest fulldome show line-up including HORIZON and Explore which are scheduled for showing at this IFSV domefest. We have a mini cardboard Paper Dome to show you fulldome show trailers, etc. Be sure to come by at our booth!	
	株式会社五藤光学研究所	GOTO INC

Booth Layout

ブース展示
配置図



■ブース出展時間■

【2/18】16:00～21:00
【2/19】09:00～18:30
【2/20】09:00～16:00

■ブース配置■

- ①パノミル
＜株式会社ピクセラ＞
- ②当社の実績と新番組のご紹介
＜コニカミノルタ
プラネタリウム株式会社＞
- ③「どこでも」ディスプレイ
＜ペニーアーケード＞
- ④スターライトスタジオの紹介
＜合同会社
スターライトスタジオ＞
- ⑤ペーパードーム
＜(有)スープスタジオ＞
- ⑥新番組紹介とペーパードーム
＜株式会社五藤光学研究所＞

Organizers

運営体制

主催 国際科学映像祭実行委員会

実行委員長 田部 一志 (株式会社リブラ)
事務局長 波田野 聡美 (Asterisk/国立天文台)

実行委員(50音順)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 安藤 幸央 (株式会社エクス) | 佐野真由美 (藤沢市湘南台文化センターこども館) |
| 生田ちさと (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所) | 高橋 洋一 (アストロデザイン株式会社) |
| 井上 拓己 (山梨県立青少年センター) | 高幣 俊之 (株式会社オリハルコンテクノロジー) |
| 宇野 知樹 (ギャラクシティ) | 豊田 哲也 (株式会社アストロアーツ) |
| 大川 拓也 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所) | 成澤 直 (コニカミノルタプラネタリウム株式会社) |
| 鷹 宏道 (平塚市博物館) | 日出奈緒子 (コニカミノルタプラネタリウム株式会社) |
| 鬼嶋 清美 (株式会社五藤光学研究所) | 平井 明 (コニカミノルタプラネタリウム株式会社) |
| 小林 善紹 (雑貨団) | 広橋 勝 (合同会社スターライトスタジオ) |
| 佐藤 千佳 (株式会社五藤光学研究所) | 三浦 昭 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所) |

共催：ギャラクシティ(東京都足立区)、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)
後援：自然科学研究機構 国立天文台(NAOJ)、日本プラネタリウム協議会(JPA)